

下水道政策研究委員会 計画小委員会との関係

1. 計画小委員会について

- 国土交通省下水道部と日本下水道協会が共同で設置している下水道政策研究委員会に、計画小委員会を設置。本年2月17日に第1回、3月13日に第2回の委員会を開催。
- 委員会では、現下の下水道が直面している課題を踏まえるとともに、『下水道ビジョン2100』に示された姿を現実のものとするべく、人口減少の本格化や厳しい財政状況、気候変動等の下水道をとりまく社会等の諸情勢を勘案して、中期（概ね10年程度）の下水道政策のあり方及びその内容について審議を行う。また、審議の結果は、次期社会資本整備重点計画の検討に資するものとしている。
- 平成18年6月を目途に中間とりまとめを行う予定。

2. 資源のみち委員会との関係

- 計画小委員会では、以下の項目について議論を行う予定。
 - ・ 公衆衛生の向上、生活環境の改善
 - ・ 浸水の防除
 - ・ 公共用水域の水質の保全（高度処理等の推進）
 - ・ 健全な水循環の再構築
 - ・ 資源循環の促進
 - ・ 省エネルギー対策・未利用エネルギー活用
 - ・ 地震対策
 - ・ 事故の未然防止対策
 - ・ 下水道施設の資産管理
 - ・ 下水道施設空間の活用
 - ・ 下水道施設空間の活用（高度情報化社会の形成）
- これらのうち、「資源循環の促進」、「省エネルギー対策・未利用エネルギー活用」については大枠の議論のみ行うこととし、具体の施策のあり方等については資源のみち委員会で議論を行い、その内容を計画小委員会に反映させることとしている。